

昔から幾春別川の洪水によって、大きな被害を受けてきました。



昭和41年8月 集中豪雨により床上浸水となった公営住宅 三笠市堤町 ①



平成20年8月現在 三笠市堤町 ②



三笠市の主な水害、治水

和暦	西暦	三笠市の主な水害・治水
明治15	1882	空知集治監設置。「市来知村」が開村(三笠市の始まり)。小樽市手宮～三笠幌内間で全国3番目(北海道初)の鉄道が開通。
明治22	1889	北有社が幾春別川切替工事を完成。豪雨により川が氾濫「魚染の滝」ができる。
明治31	1898	7月、幾春別川大洪水。9月、石狩川全流域に大洪水発生。「北海道治水調査会」「石狩川治水期成会」設立。
明治34	1901	9月、幾春別川洪水氾濫。
明治37	1904	6月、7月にわたり幾春別川が氾濫。7月、台風と前線により石狩川全流域に大洪水。
明治42	1909	4月、幾春別川洪水。桂沢ダム建設の案があり実地踏査。
明治43	1910	石狩川治水事業を開始。
明治44	1911	8月、幾春別川氾濫(浸水家屋300余戸、橋梁多数流失)
大正12	1923	9月、幾春別川氾濫。
昭和7	1932	9月、幾春別川、市来知川、幌内川氾濫し大水害となる。
昭和16	1941	幾春別川新水路事業着手(幾春別川を幌内川から分離し、直接石狩川に付替える)
昭和17	1942	三笠町制を施行。(昭和32年三笠市制施行)
昭和18	1943	9月、町内の各河川氾濫大水害。幌内太駅を「三笠駅」と改称。
昭和22	1947	9月、町内の各河川氾濫大水害。
昭和24	1949	幾春別川新水路事業暫定通水(昭和16年着手)
昭和26	1951	「石狩川(幾春別川・芦別川)総合事業計画説明書」をまとめ、桂沢ダム着工。
昭和29	1954	4月、幾春別川、幌内川各支流が氾濫。9月、台風15号により大被害を受ける。
昭和32	1957	桂沢ダム完成。
昭和33	1958	7月、奔別川、幌内川氾濫。
昭和34	1959	9月、河川氾濫(流失家屋45戸、浸水家屋650戸、田畑道路橋梁に被害)
昭和36	1961	7月、集中豪雨のため市内に被害が発生。幾春別川新水路事業完了(昭和16年着手)
昭和37	1962	8月、台風による豪雨災害発生(犠牲者2名ほか)
昭和41	1966	8月、集中豪雨災害発生、甚大被害を受ける。(犠牲者2名、床上浸水355棟他)「災害救助法」の適用
昭和44	1969	本郷町地先の幾春別川切替工事が完成。
昭和50	1975	8月、低気圧と台風6号の影響による集中豪雨により石狩川氾濫(三笠市：床上浸水204戸その他農業及び公共施設に被害)災害救助法の適用を受ける。(石狩川流域：犠牲者9人、家屋浸水20,829ha農作物被害47,966haなど)
昭和56	1981	8月、前線と台風などの影響により石狩川洪水史上最大の洪水が発生。(三笠市：被害総額28億2,530万円)(石狩川流域：被害家屋22,500戸、農作物被害89,370haなど)
平成2	1990	幾春別川総合開発事業(新桂沢ダム、奔別ダム)が採択され着手。
平成6	1994	三笠ぼんべつダム着工。
平成13	2001	9月、石狩川流域で大雷雨(昭和50年洪水とほぼ同規模の降雨ながら最小限の被害)

参考資料：「新三笠市史」「三笠市のできごと」「幾春別川新水路事業の記録」「河川整備計画」



昭和41年8月洪水 三笠市多賀町 ③



昭和50年8月洪水 三笠市多賀町付近の浸水状況 ④



昭和56年洪水 三笠市営球場付近 ⑤



平成24年9月9～12日洪水 三笠市唐松地区 ⑥